

平成14年度

当初予算（案）の事業概要

杉並区

目 次

1	財政規模	1
2	歳入の概要（一般会計）	2
3	歳出の概要（一般会計）	3
4	重点5分野への予算措置の重点化	4
	（1）ITの推進	5
	（2）共に生きる（健康・福祉・協働）	5
	（3）地域経済の活性化	6
	（4）環境先進都市	7
	（5）教育改革	8
5	実施計画事業の予算化	8
6	その他の主な施策	9
7	主な投資事業	11
8	主な事業の内容	
	（1）IT推進による行政・地域の情報化	
	・電子区役所の構築	12
	（2）いっしょにつくろう、共に生きるやさしいまち	
	・参加と協働の地域社会づくり	14
	・安心して、豊かな子育てができるまち	15
	（3）すぎなみの独自性を生かした地域経済の活性化を	
	・エコシール制度の導入を進めます	17
	・起業家にSOHOスペースを提供します	17
	・杉並をアニメのメッカに「アニメの杜すぎなみ」構想を推進	18
	（4）環境にやさしい住み良いまちづくり	
	・環境にやさしいまち	19
	・みどりとふれあうまち	20
	・環境に配慮する子どもたちを育てるために	21
	（5）魅力ある教育を学校で、地域で、そして家庭で	
	・地域の人たちとともに魅力ある教育づくりを	22
	・絵本で親子の、そして地域のふれあいを	23
	・少しでも快適に勉強できるように	24
	（6）その他の主な施策	
	・区政の透明性を高めるために	25
	・公正で効率的な電子入札制度への移行を開始します	25
	・粗大ごみの受付をより便利にします	26
9	「スマートすぎなみ計画」の実施	27
10	特別会計	28

平成 14 年度当初予算（案）の事業概要

アメリカ経済の急激な減速に加え、同時多発テロの影響により、日本の経済・景気が大きく悪化し、国税収入がマイナス 7.7%、都税収入がマイナス 8.1%と見込まれる中、14 年度の区税収入の落ち込みは避けられません。こうした状況の中にあっても、「スマートすぎなみ計画」に基づく行財政改革を一層推進しつつ、「杉並区実施計画」の計画事業を可能な限り予算化するとともに、「IT の推進」、「共に生きる」、「地域経済の活性化」、「環境先進都市」、「教育改革」の五分野に重点的な予算措置を行う予算編成を行いました。

1 財政規模

14 年度当初計画額	1354 億 9700 万円
13 年度財政計画規模	1450 億 4800 万円

予算額ベースでの比較

（単位：千円）

	14 年度当初予算	13 年度当初予算	対前年比
一般会計	134,619,000	144,158,000	93.4%
国民健康保険事業会計	38,822,088	37,646,789	103.1%
老人保健医療会計	49,794,438	47,865,715	104.0%
用地会計	1,107,001	9,267,152	11.9%
介護保険事業会計	20,625,333	19,147,837	107.7%
合計	244,967,860	258,085,493	94.9%

一般会計と 4 つの特別会計の総予算額は、244 億 967 万円となり、前年度と比べて 13 億 176 万円、5.1%の減となります。

減となった主な要因としては、一般会計における年金保険料収納事務の変更による減、用地会計における興銀グラウンド等の一般会計による買戻しの減などがあげられます。

2 歳入の概要（一般会計）

（単位：百万円）

歳入区分	14年度 当初計画	13年度当初計画	
			増減率%
一般財源	107,709	102,274	5.3%
特別区税	54,514	55,177	1.2%
減税補てん債	1,300	1,400	7.1%
特別区財政交付金	26,500	27,500	3.6%
繰越金等	11,256	2,970	279.0%
特定財源	27,788	42,774	35.0%
特別区債	1,368	6,480	78.9%
合計	135,497	145,048	6.6%

特別区税

特別区税は545億1421万4千円で、13年度当初計画額と比べ、6億6366万8千円、1.2%の減となりました。そのうち、特別区民税は13年度決算見込額と比較し、2.0%の減を見込んでいます。

○地方特例交付金と減税補てん債

恒久的減税にかかる財源補てん措置としての地方特例交付金は、50億8800万円で、13年度と比べ、7300万円、1.4%の減となります。

減税補てん債は、発行限度額は17億8000万円と見込みましたが、財政健全化を目指す姿勢を堅持するため、発行額の圧縮を引き続き行い、4億8000万円を圧縮し、13億円の予算計上を行いました。

○特別区財政交付金

14年度においては、都区財政調整交付金の原資である住民税法人分が、財調フレーム対比で16.5%の減となり、財調交付金総額は6.6%の大幅な減が見込まれ、23区全体の財調交付金は、13年度当初フレーム対比で522億4400万円程の減が見込まれます。

利子割交付金

利子割交付金は、高金利時代の郵便貯金の満期到来により平成12年度と13年度の2年間は、一時的な増収が見込まれましたが、14年度は13年度と比べ30%以上の減が見込まれるので、23億円計上しています。

○基金

12年度から13年度にかけて、都区財政調整の再調整等による歳入の増加という状況を踏まえて、「財政調整基金」、「施設整備基金」はそれぞれ増加しました。

14年度は、実施計画にそって計画的に「施設整備基金」から13億6800万円の繰り入れを行うとともに、特別区税の引き続き減収に対応するため「財政調整基金」から17億円の取崩しを行います。

○特別区債

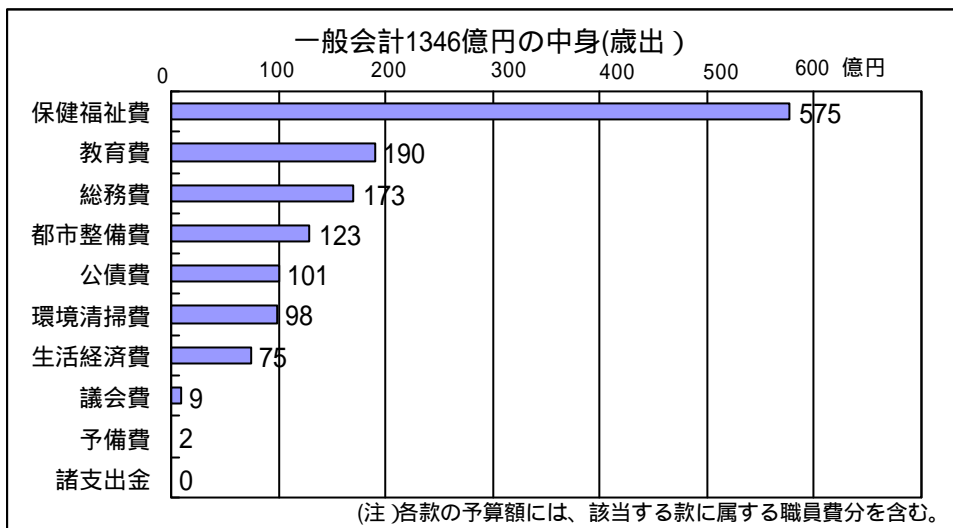
施設建設に充てる特別区債の発行は、(仮称)杉並南中央公園用地取得に関連した公園債7億8600万円の発行を含め、発行額は13億6800万円、13年度当初予算と比べ51億1200万円、78.9%の大幅な減となります。

3 歳出の概要(一般会計)

(単位:百万円)

歳出区分	14年度当初	13年度当初	増減率%
職員人件費	42,549	43,916	3.1%
公債費	10,094	9,979	1.2%
既定事業	65,932	74,584	11.6%
新規・臨時事業	7,706	1,162	563.2%
投資事業	8,338	14,517	42.6%
歳出予算計	134,619	144,158	6.6%
財源保留額	878	890	1.3%
合計	135,497	145,048	6.6%

事業数	計 481 事業
既定事業	432 事業
新規・臨時事業	17 事業
投資事業	32 事業



4 重点5分野への予算措置の重点化

予算要求に先立って、予算措置の重点化を図るべき分野と、その分野における計画事業の前倒し・拡充等の重要施策を決定し、予算編成を行いました。

重点化を図るべき分野は、「ITの推進」、「共に生きる（健康・福祉・協働）」、「地域経済の活性化」、「環境先進都市」、「教育改革」の5分野です。

分野別予算集計表

分 野	金 額 (単位：千円)
I T の 推 進	1,175,666
共に生きる（健康・福祉・協働）	2,605,669
地 域 経 済 の 活 性 化	490,348
環 境 先 進 都 市	1,753,563
教 育 改 革	1,590,279
合 計	7,615,525

《主な事業》

(1) IT の推進

電子区役所構築に向けての基盤整備

情報通信ネットワークを活用し、区民サービスの向上と行政の効率化を図るため、実施計画にそってパソコンを配置するとともに、文書や資料をデータベース化して検索や情報提供の迅速化や文書管理事務の電子処理をめざす総合文書管理システムを構築する。また、施設予約システムを開発し、インターネット等による施設の予約申込みを可能とし、区民の利便性を高める。

ホームページ閲覧用パソコンの拡充

情報の格差の解消をめざし、区立施設にインターネット機器を設置し、区のホームページを自由に閲覧可能にする。

情報通信技術(I T)学習の推進

13 年度、国庫補助を活用して実施した I T 講習会を、実施方法等を見直し継続実施する。

(2) 共に生きる (健康・福祉・協働)

N P O 等の支援と協働推進

養成講座・講習等の普及啓発、ホームページ作成等を通じた活動者のネットワーク形成援助、N P O 支援基金設置などの支援を行う。

心身障害児の地域サービス運営助成の拡充

障害児の放課後対策などの地域サービス事業を進める施設 2 所(新規)の運営費助成 (箇所数 8 10 所)

認証保育所運営委託の拡充

東京都が認証した駅前保育所に対して運営費と開設準備経費の補助

P F I によるケアハウスの整備

介護保険の基盤整備を進めるため P F I の手法を用いた民間参入型ケアハウスの整備に着手する。

高齢者インフルエンザ予防接種の実施

予防接種法の改正により、高齢者のインフルエンザ予防接種を実施する。

小児救急医療の充実

平日夜間の小児救急医療体制を再構築し、小児救急医療の充実を図る。

高円寺障害者交流館の新規開設

障害者の自立と社会参加を促進するため、集会施設として障害者団体等に利用の機会の提供を図る。

高齢者アパートあっせんの身元保証制度導入

保証人のいない高齢者に保証制度を設けることにより、安定した居住環境を確保する。

(3) 地域経済の活性化

商店街振興総合対策

各商店街等が実施・提案する活性化事業に対し必要な助成等を行ない、活力のある商店街づくりを進める。また、商店街活性化の方策を総合的に検討し、具体化する。

ＳＯＨＯの開設支援と産業の活性化

産業商工会館の一部をＳＯＨＯ用の事務所として整備し、事業者の起業・創業を支援する。また、新たな産業振興計画を策定し、区内産業の活性化を図る。

杉並をアニメのメッカにする「アニメの杜すぎなみ」構想の推進

アニメ製作の人材を育成するとともに、アニメフェスティバル・アニメシアターを開催する。また、貴重なアニメ資料や情報の集積を図る。

商店街買物袋持参運動の推進

レジ袋を削減し環境の保全を促進するとともに、商店街の活性化と振興をはかるために、買物袋持参客に特典を与えるポイントシール制度(エコシール)の導入を進める。

荻窪駅北口の整備

住民主体のまちづくりを推進していくために、ワークショップ方式による荻窪駅前広場の整備の方策を検討する。また、そのためのシンポジウムを開催する。

(4) 環境先進都市

(仮称)すぎなみ環境目的税のPR

すぎなみ環境目的税のPRをするとともに、レジ袋の代わりとなる買物袋「マイバッグ」の普及を図る。

(仮称)桃井中央公園(日産跡地)の暫定公開

14年度中に暫定公開するための整備

屋上緑化助成

ヒートアイランド現象の緩和に大きな役割を果たす、みどりを創るため、建物の屋上緑化を推進する。

環境博覧会の開催と環境基礎調査の実施

環境についてともに考え、日常のライフスタイルを見直す機会として「環境博覧会」を開催する。
また、京都議定書に則った削減目標を踏まえて、温室効果ガスの削減計画を策定するための環境調査を実施する。

カラス被害対策(巣の撤去作業委託)

カラスの巣の撤去作業を委託する。

ごみの夜間収集の実施

カラス対策及びごみ散乱防止のため、JR中央線4駅周辺で、可燃ごみの夜間収集を実施する。

カラス対策(駅前排出指導)

駅前等で収集前のごみをカラスから防ぎ、併せてごみ排出の指導を行う。

教育委員会ISO14001認証取得

13年度の区長部局の取得に引き続き、14年度は学校を含めた教育委員会が認証取得のための環境配慮行動を実施する。

キッズISO14000sの実施

夏休みなどに子どもたちが、普段の生活の環境行動を検証する。

(5) 教育改革

教育改革アクションプランの推進

魅力ある教育の実現を図るため、学校サポーターの制度化や地域との協働による部活動の支援、生涯学習の充実などの諸施策を進めていく。

小・中学校教室(全室)扇風機設置

13年度最上階の教室に扇風機を設置したが、14年度は全教室に4機設置する。

杉並版ブックスタートの実施

早い段階から読書に親しむ環境を作るため、13年度に試行的に実施した、親子に本を配付する「ブックスタート」を実施する。

5 実施計画事業の予算化

区税収入が落ち込み、厳しい財政状況の中でも、「杉並区 21 世紀ビジョン」に描かれた将来像と目標を実現するために、「実施計画」に定めた施策を可能な限り予算化することに努めました。

実施計画の当初予算計上額は、143億6900万円

予算計上率 95.8%

(単位：千円)

目 標	計 画 額	当初予算額	差引増減
1 水辺をよみがえらせ みどりのまちをつくろう	6,093,000	5,646,444	446,556
2 やさしさを忘れず共に 生きるまちをつくろう	5,214,000	4,739,918	474,082
3 みどりの産業で元気 の都市をつくろう	518,000	131,382	386,618
4 未来を拓く人をつく ろう	2,527,000	2,912,943	385,943
5 ビジョンの実現に向 けて	645,000	938,068	293,068
合 計	14,997,000	14,368,755	628,245

6 その他の主な施策

減債基金への積み立て

今後の公債費負担の平準化を図るため減債基金を新設し、用地取得基金の廃止により生み出す 70 億円を積立てる。

外部監査制度の導入

監査委員とは別に、第三者が監査を行うことにより、行政の透明性を高め、区政への信頼性の向上を図る。

区制 70 周年記念事業の開催

記念事業イベント 3 事業の実施

産褥期ヘルパー事業

産後の体調不良により、家事・育児が困難な家庭等に対し、看護師や保育士等を派遣する。

男女共同参画宣言都市サミットの開催

男女共同参画社会づくりを推進するために、「男女共同参画宣言都市サミット」を国と共催で開催する。

法定・法定外公共物の譲与

国から水路、道路等の移管を受けるため、境界確定などの調査を実施する。

電子入札制度の導入

16 年度本格稼働をめざし、14 年度から開発する。

粗大ごみ受付コーナー運営委託

都の財団法人に委託していた「粗大ごみ受付」を区が行うことによりサービスを拡充する。

小・中学校に冷水機の設置

全小・中学校にウォータークーラー(冷水機)を設置する。

新・緊急地域雇用補助金事業

国の補正予算で措置された補助金を活用し、14年度～16年度の3か年で4億9900万円の雇用対策事業を実施する。

・放置自転車防止

放置防止指導員委託の継続と拡充

・IT講習会講師派遣

講習会への講師委託

・区民農園維持管理

区民農園13か所の維持管理委託

・国民健康保険レセプト点検

レセプトの縦覧点検を委託し、重複請求等の発見に務め医療費の適正化を図る。

・税・国保口座振替勧奨

税・保険料を口座振替していない世帯に対し直接訪問し、口座振替の加入を勧奨する。

・カラス対策(駅前排出指導) <再掲>

駅前等で収集前のごみをカラスから守り、併せてごみ排出の指導を行う。

・ごみマップ事業

放置された廃棄物の場所等を明らかにする「ごみマップ」の作成を行い、放置廃棄物の撤去を進める。

・フレッシュ補助教員

子どもたちと若い補助教員とのふれあいの機会を充実させるとともに学校の活性化を図る。

・障害幼児介助員

区立幼稚園に介助員を配置して、軽度の障害のある幼児の保育を拡充する。

・障害児介助員

区立学校の普通学級に在籍している、介助を必要とする障害をもった児童に介助員を配置し、保護者の負担軽減を図る。

7 主な投資事業

公会堂 P F I	(47 年度まで)	1359 万円
・公会堂改築に P F I 事業を適用し、事業者を選定		
荻窪 5 丁目複合施設建設	(15 年度まで)	6 億 9384 万円
高井戸保育園の改築	(15 年度まで)	1 億 2429 万円
荻窪児童館の改築	(15 年度まで)	7377 万円
(仮称)高円寺北自転車駐車場建設	(16 年度まで)	6 億 5744 万円
(仮称)杉並南中央公園の建設	(16 年度まで)	14 億 6924 万円
(仮称)桃井中央公園の暫定整備	(14 年度中に公開)	5005 万円
泉南中学校の改築・改修	(14 年度まで)	8 億 6611 万円

8 主な事業の内容

(1) I T 推進による行政・地域の情報化

I T を活用し、重要な経営資源である情報を共有することにより行政運営の効率化や顧客志向に基づく付加価値のある区民サービスの向上等に最大の効果を生み出すことを目指しています。併せて、情報格差が生活にもたらす影響や情報セキュリティ対策についても十分に考慮して進めていきます。

【電子区役所の構築】

今後、区と区民・企業や団体・国や地方自治体といった、インターネットの利用と領域の拡大による情報流通の活発化が行政活動において不可欠となっていきます。その準備として区では、電子区役所構築に向けた基盤整備を進めています。14年度の主な取り組みとして、窓口の多様化や文書管理システムの導入などによる職場環境の整備 ホームページの充実と情報収集の格差是正を図っていきます。

電子区役所構築に向けての基盤整備

- ・事業内容 主な事業として、手続きの簡素化とI T 機器による予約申し込みなど、区立施設の窓口チャネルを増やし、利便性を向上させるための予約システムを平成 14 年度中の導入に向け準備する。また、内部管理事務の簡素化を進めるため、第一段階として文書管理システムの平成 14 年度中の導入に向け準備する。
- ・予算額 888,190,000円
- ・問い合わせ 政策経営部I T 推進課 (内線1754)

ホームページ閲覧用パソコンの拡充

- ・事業内容 IT機器の有無による情報収集の格差が生じないように、区立施設へのパソコン配置を拡充する。
- ・事業開始時期 平成14年6月
- ・設置箇所数 14ヶ所 これにより設置箇所は合計29ヶ所となる
- ・予算額 6,945,000円
- ・問い合わせ 政策経営部IT推進課 (内線1753)

(2) いっしょにつくろう、共に生きるやさしいまち

まちには、高齢者や障害のある方、子育て中の方など、さまざまな人が暮らしています。多くの人々が、将来のこと、健康のことなど、いろいろな不安を抱えています。区では、高齢者には、介護基盤の整備や健康づくりなどを、障害のある方には社会参加促進や自立を目指した支援を、子育て中の方には、安心して出産・育児ができ、育児と就業の両立ができるように、誰もが、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

誰もが暮らしやすいまちをつくるためには、区民の自主的・主体的活動が大きな力となります。区は、NPO等の活動の環境を整えるなどの支援を行い、区民との協働を推進していきます。

【参加と協働の地域社会づくり】

NPOやボランティア活動の推進のための「(仮称)杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例」が、平成14年4月に施行予定です。

また、NPOの活動資金の確保を支援するため、「NPO支援基金」を創設します。

さらに、区民の社会貢献性のある活動を推進する「(仮称)NPO・ボランティア活動推進センター」を平成14年度中に開設するために、区民参加の設立準備会で、そのあり方を協議していきます。

○ 「杉並区NPO支援基金」の創設

- | | |
|--------|--|
| ・事業内容 | 区民、団体、事業者からの寄付金をもとに「杉並区NPO支援基金」を創設。NPOからの申請に基づき、区民の参加する「杉並区NPO等活動推進協議会」の審査を経て、基金から資金を助成する。 |
| ・実施時期 | 平成14年4月 |
| ・積立金額 | 2,001,000円 |
| ・助成金額 | 1,000,000円 |
| ・問い合わせ | 区民生活部地域課 (内線3767) |

○ NPO等の活動と協働の推進

- | | |
|--------|---|
| ・事業内容 | NPO・ボランティア活動及び協働の推進にむけ、地域における活動のスキルアップのための講座を開催し、人材育成を図る。また、NPOのネットワーク形成を支援するため、ホームページの作成なども行う。 |
| ・予算額 | 5,405,000円 |
| ・問い合わせ | 区民生活部地域課 (内線3767) |

【安心して、豊かな子育てができるまち】

近年の少子化・核家族化や地域社会における近隣関係の希薄化といった社会変化により、子育てに不安や負担感を抱える若い世代が多くなっています。安心してゆとりのある出産・育児をおこなってもらうために、産褥期ヘルパー派遣制度の開始や小児救急医療の充実など、子育て支援をさらに推進します。

また、子育てをしながら仕事をする家庭も増えています。男女が協力して、仕事と子育てとの両立ができるよう、民営保育所等の運営補助や認証保育所等の開設・運営補助、さらに、病後児保育も開始し、バックアップしていきます。

○ 認証保育所運営委託の拡充

- | | |
|--------|---|
| ・事業内容 | 杉並区初の東京都認証保育所A型(駅前基本型)がオープン予定。これに対して運営費と開設準備経費の補助を行う。
これにより、認証保育所数は、A型(駅前基本型)1所、B型(小規模・家庭的保育所)3所となる。 |
| ・開設時期 | 平成14年4月予定 |
| ・予算額 | 39,077,000円 |
| ・問い合わせ | 保健福祉部保育課 (内線1385) |

○ 小児救急医療の充実

- ・事業内容 これまでの休日等夜間急病診療に加え、小児救急医療を平日夜間、22時30分にまで時間帯を拡充して実施する。

保健医療センター内に小児科医を配置し、電話によるアドバイスや直接診療を行う。

(開設時間) 19時30分～22時30分

- ・事業開始時期 平成14年4月
- ・予算額 19,969,000円
- ・問い合わせ 保健福祉部健康推進課 (内線4524)

(3) すぎなみの独自性を生かした地域経済の活性化を！

地域にとって欠くことのできない大切な存在である商店街の活性化に取り組みます。

また、情報産業の発展やライフスタイルの多様化に伴い、杉並のような住宅地が新産業の拠点として注目を集めています。区では積極的に杉並を拠点に活動する起業家の方々を支援するとともに、アニメーション産業など杉並の地域の特徴を生かせる産業を支援します。

【エコシール制度の導入を進めます】

レジ袋を削減し環境の保全を促進するとともに、商店街の活性化と振興をはかるために、買物袋持参客に特典を与えるポイントシール制度(エコシール)の導入を進めます。

マイバッグ運動の推進

- | | |
|--------|---|
| ・事業内容 | レジ袋を削減するとともに、商店街振興を図るため、エコシール制度の導入を進める。また、マイバッグの推進運動を進めるとともに、マイバッグ持参率等の調査を行う。あわせて、ごみの減量やリサイクルの推進等の施策に要する費用に充てるための税である「(仮称)すぎなみ環境目的税」の趣旨普及を行う。 |
| ・予算額 | 81,197,000円 |
| ・問い合わせ | 区民生活部課税課 (内線1201)
区民生活部経済勤労課 (内線1328) |

【起業家に SOHO スペースを提供します】

長引く不況と産業構造の変化の中で、起業家の活躍が目立っています。起業家のバックアップは、杉並のまちを活性化するために欠かすことができない戦略の一つです。区では、区立産業商工会館地下1階の一部を改修し、SOHOスペースを設置する予定です。産業商工会館はJRや地下鉄の駅から近く、商店街にも隣接した立地。ブロードバンドを利用できる良好な環境を整備し、SOHO 起業家の必要に応えます。

また、新年度には産業振興計画を策定するなど、産業情報の収集・提供を充実することで、区内産業の活性化を図ります。

SOHO の開設支援と産業の活性化

- ・事業内容 産業商工会館の一部を SOHO 用事務所として整備し、起業環境の基盤整備を行う。また、産業情報の収集・提供を充実し、区内産業の活性化を図る。
- ・開設時期 平成 14 年 12 月
- ・予算額 34,555,000 円
- ・問い合わせ 区民生活部経済勤労課 (内線 1328)

【杉並をアニメのメッカに！「アニメの杜すぎなみ」構想を推進】

平成 13 年度、「アニメーションフェスティバル 2001in 杉並」の開催や杉並アニメ振興協議会設立の支援など、区はアニメ産業への支援を開始しました。14 年度にはさらに「アニメの杜すぎなみ」構想の推進を図ります。

新年度には特に、アニメ・クリエイターを育てる「アニメの杜すぎなみ匠(たくみ)塾」を立ち上げます。デジタル化が進む中、これまで蓄積された日本のアニメの産業技術を次の世代に伝え、レベルアップを図る必要が高まっています。しかし、区内のアニメ・スタジオの多くは中小企業で、なかなか人材育成まで手を広げる余裕がありません。そこで日本最大のアニメのまちとしてスタジオが集積している地の利を生かし、若い才能あるアニメーターを発掘し、実際の製作現場で技術を磨くシステムを作ります。

アニメ業界が潜在的に持っているビジネスチャンスを生かすことで、杉並を世界に発信するまちに変えていくとともに、商店街振興への波及効果、区内産業の活性化につなげていきたいと考えています。

杉並をアニメのメッカにする「アニメの杜すぎなみ」構想の推進

- ・事業内容 アニメ製作の人材を育成するとともに、アニメ・フェスティバルを開催する。アニメ資料や情報の集積を図る。
- ・アニメ・フェスティバル開催時期 平成 14 年 10 月
- ・予算額 40,180,000 円
- ・問い合わせ 区民生活部経済勤労課 (内線 1328)

(4) 環境にやさしい住み良いまちづくり

杉並区は、みどり豊かな環境都市として、発展してきました。しかし、近年の都市化により、みどりは徐々に失われつつあります。一方、地球規模で見ると、大量生産、大量消費、大量廃棄という利便性を追及した生活がもたらした、地球温暖化、オゾン層の破壊など、地球環境の破壊が早急に解決しなければいけない重要課題となっています。区では、区民ひとりひとりの日々の生活における協力をお願いしながら、環境先進都市を目指していきます。

【環境にやさしいまち】

区では、環境にやさしいまちづくりに積極的に取り組んでいきます。まず、少しでもごみを減らすために、レジ袋に代わる買物袋「マイバッグ」利用普及を推進していきます。前年度に引き続き「環境博覧会」を国内外の都市との連携を進めつつ開催します。また、環境基礎調査を実施し、23区では初となるCO₂の削減計画を定めます。

都市部において近年急増したカラスは、ごみを散らかしたり、人などを襲ったりするため、大きな問題となっています。カラス対策及びごみの散乱防止のため、夜間収集を開始するとともに、ごみの排出指導などを行います。

○ 環境博覧会の開催と環境基礎調査の実施

- | | |
|--------|--|
| ・事業内容 | 京都議定書で示された地球温暖化対策の実行に向けて、杉並区全域の省エネルギーの可能性を把握するため、環境基礎調査を実施し、23区では初となる「地域省エネルギービジョン」を策定する。また、国内外の環境先進都市との交流を通し、学び・考え・行動する機会として、第2回環境博覧会を開催する。 |
| ・実施時期 | 環境基礎調査 平成14年7月～
環境博覧会 平成14年10月19・20日 |
| ・予算額 | 30,000,000円 |
| ・問い合わせ | 環境清掃部環境課（内線4113・4146） |

カラス総合対策

- ・事業内容 JR中央線4駅周辺で、ごみの夜間収集を実施するとともに、それ以外の駅前で、ごみの排出指導を実施し、カラスからごみを守る。また、繁殖期の人的被害を防ぐため、カラスの巣の撤去作業を行う。
- ・実施時期 夜間収集 平成14年6月開始予定
- ・予算額 92,279,000円
- ・問い合わせ 環境清掃部リサイクル清掃課 (内線4124)
環境清掃部環境課 (内線4115)

【みどりとふれあうまち】

区内の緑は昭和47年から平成9年の25年で約4分の1が失われました。一人当たりの公園面積は徐々に増加しているものの、23区中19位であり、まだまだ不足しているといえます。

(仮称)杉並南中央公園の整備とともに、(仮称)桃井中央公園暫定整備・公開や特色ある公園づくり、屋上緑化助成など、区内のみどりを増やし、気軽にみどりに親しめる環境づくりを行います。

(仮称)桃井中央公園(日産跡地)の暫定公開

- ・事業内容 日産荻窪工場跡地の防災公園部分にあたる(仮称)桃井中央公園の3部分について、14年度中の暫定公開を目指し、整備を行う。
- ・実施時期 公開予定 平成14年度末
- ・予算額 50,050,000円
- ・問い合わせ 都市整備部公園整備担当 (内線3444)

屋上緑化助成

- ・事業内容 ヒートアイランド現象や大気汚染を緩和するとともに、都市景観に潤いを与える効果のある、屋上緑化に対して助成を行う。
- ・予算額 10,000,000円
- ・問い合わせ 都市整備部公園緑地課 (内線3447)

【環境に配慮する子どもたちを育てるために】

持続的発展が可能な循環型社会をつくりだしていくためには、わたしたち自身の意識改革が欠かすことができません。区では子どもたちが学校や家庭で環境について考え、行動する機会を設けることで、地球環境に配慮する新しい世代を育てていきます。

平成 13 年 10 月 12 日に区長部局が環境の国際規格である I S O 14001 を取得しました。新年度には区立小中学校を含む教育委員会も I S O 14001 の取得を目指し、将来に向けて継続的に環境に取り組む体制を構築します。職員と子どもが一体となって、今まで以上に環境を重視する取り組みを進めていきます。

また、平成 13 年度に引き続き、小学生が家庭で環境配慮行動を実行する「キッズ I S O 14000 s」を実施します。平成 13 年の夏には区立小学校 32 校の 5 年生 1400 名が参加しましたが、新年度は区立小学校 44 校すべての 5・6 年生を対象を広げ、各家庭の電気やガスなどの使用量を調べ、その削減に取り組むことをめざします。環境について考えるだけでなく、そのための行動を起こすことで子どもたちの意識はどんどん変わっていくでしょう。

教育委員会 I S O 14001 認証取得

- ・事業内容 区立小中学校を含めた教育委員会が環境配慮行動を行い、I S O 14001 の取得を目指す。
- ・予算額 3,521,000 円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局庶務課 (内線 1608)

キッズ I S O 14000 s の実施

- ・事業内容 区立小学校の 5 年生・6 年生を対象に、アーテック(国際芸術技術協力機構)が考案した教材「キッズ I S O 14000s」に基づいた環境配慮行動を展開する。
- ・予算額 9,418,000 円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局庶務課 (内線 1608)

(5) 魅力ある教育を学校で、地域で、そして家庭で！

教育委員会は、子どもたちが、楽しく学び、思いやりの心とたくましく生きる力を育むことのできる教育、区民一人一人の生涯にわたる学習、文化、スポーツ活動の推進をはかるために「教育改革アクションプラン」の策定に取り組んでいます。

区では、このプランに則して教育改革が実行されるよう支援していきます。

特に、地域との連携を強化することで、教育活動に地域の人々の知識や経験、技能を活かす制度を創設し、「学ぶ喜び」「遊ぶ喜び」「教える喜び」そして「生きる喜び」がいっぱいになる学校づくりをすすめます。

また、家庭は人間形成の基本を培う場ですが、その家庭の教育力が低下していると指摘されています。そこで、家族の豊かな関係づくりに向けた支援策を実行していきます。

【地域の人たちとともに魅力ある教育づくりを！】

具体的には、主に次の事業を実行していきます。

授業の時間や部活動、校外学習など学校が求める活動を支援するため、地域の「匠」の知識や経験、技能を活かしながら学校を支える**学校サポーター**制度の創設を支援します。その際、学校と地域の掛け橋となるように、企画力・調整力・人脈を豊富に有した人材をコーディネーターとして試行的に配置し、地域の人材を活用した各種事業が円滑に行われるように支援します。

近隣の大学と連携し、部活動の指導や授業の補助などを行う**学生ボランティア**制度の創設を支援するとともに、子どもたちと年代の近い教諭免許状所有者を**フレッシュ補助教員**として杉並独自に採用し、若い教師とのふれあいの機会と少人数による教育を充実します。学校週五日制の実施にあわせ、子ども・保護者・学校の求めに応じ、学習やスポーツなどを行う**土曜日学校**の開設を支援します。

子どもの成長に応じて親と子が直面するさまざまな問題について、参加者同士が学びあう、語らいを重視した**寺子屋式学習**を支援していきます。

教育改革アクションプランの推進

- ・事業内容 地域の教育力の向上や地域社会の形成をめざした、魅力ある教育の実現を図るための諸施策を進める。
- ・予算額 186,119,000円
- ・問い合わせ 教育委員会事務局庶務課 (内線1606)

【絵本で親子の、そして地域のふれあいを】

区では新年度から、親子で本に親しんでもらうために「ブックスタート」を始めます。赤ちゃんのための絵本や保護者へのアドバイス集が入った「ブックスタート・パック」を通して赤ちゃんとのふれあう楽しさを伝え、絵本の選び方などをアドバイスする活動です。

諸外国に比べ、日本では親子と一緒に過ごす時間が少ないといわれます。そこでイギリスではじまった「ブックスタート」を日本の実情に合わせて改良し、本を通して親子が、そして地域の人たちがふれあう機会を増やし、同時に地域の中で子育てを支援していくことを目的としています。

平成12年11月、13年5月に区は「子ども読書年推進会議」(現：ブックスタート支援センター)に協力し、「ブックスタート」のパイロットスタディを実施しました。今回はこの時の経験を生かしながら、杉並独自の活動を展開します。

杉並版ブックスタートの実施

- ・事業内容 「ブックスタート・パック」により本を介した赤ちゃんとのふれあいの楽しさを伝え、また本の選び方などをアドバイスする。
- ・予算額 7,114,000円
- ・問い合わせ 区立中央図書館 (3391-4800)

【少しでも快適に勉強できるように】

ヒートアイランド現象によって年々、東京の夏は暑くなっています。昔ならば暑さの盛りには、小中学校は夏休みに入っていたもの。しかし近年では、まだ授業の行われている時期からいちじの暑い暑さが記録されています。

毎年12月に開催されている杉並区子ども区議会でも、教室の暑さに対応してほしいという要望が出されています。そこで区では平成13年度、すべての区立小中学校の最上階の教室を中心に扇風機2機を取り付けました。新年度には、扇風機の設置を全教室（通常の授業が行われるすべての教室）に拡大し、各室に4機の扇風機を設置することで、少しでも子どもたちが快適に勉強できるように図ります。

また、子どもたちが少しでもしのぎやすくなるように、すべての区立小中学校に冷水機を設置します。

小・中学校教室（全室）扇風機設置

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・事業内容 区立小・中学校の全教室に扇風機を4機設置する。小中学校あわせて約2300機となる予定。・予算額 172,950,000円・問い合わせ 教育委員会事務局学校運営課（内線 1612） |
|---|

小・中学校冷水機設置

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・事業内容 全小・中学校に冷水機を設置する。・予算額 14,740,000円・問い合わせ 教育委員会事務局学校運営課（内線 1612） |
|---|

(6) その他の主な施策

【区政の透明性を高めるために】

区では、開かれた行財政運営システムの構築のため、監査委員とは別に、第三者が監査を行う事により、行政の透明性を高め、区政への信頼性の向上を図ります。

監査テーマは、行政評価システム(住民参加の予定)を通じて選定するという、杉並区独自の方法で効率的・効果的に個別監査を実施します。

外部監査制度の導入

- ・事業内容 監査事由に応じて、専門とする外部監査人に依頼する。
- ・事業開始時期 14年4月
- ・予算額 8,010,000円
- ・問い合わせ 区長室総務課(内線 1434)

【公正で効率的な電子入札制度への移行を開始します】

区では新年度から、入札・契約業務をインターネットによって行う電子入札制度への移行を開始します。平成16年度からの本格稼働をめざし、新年度にはその第一歩として、入札情報を区公式ホームページに掲載するサービスを開始します。また、これと平行して入札参加資格審査(業者登録)の申請をインターネットで受け付けるシステムを開発し、平成15年度から運用を開始する予定です。

だれでも見られるインターネット上に入札・契約情報が掲載されるため、区は物品やサービスを安価で効率的に調達できるようになります。また、インターネットによる入札が実現すれば、区役所に出向いて入札に参加する従来の入札制度が改善され、談合の防止などの効果も期待できます。

電子入札制度の導入

- ・事業内容 入札情報を区公式ホームページに掲載し、入札参加資格申請受付システムの開発を図るなど電子入札制度への段階的な移行を図る。
- ・予算額 47,525,000円
- ・問い合わせ 政策経営部経理課(内線1535)

【粗大ごみの受付をより便利にします】

粗大ごみの受付は、これまで、23区共同で一括して電話により受け付けていました。しかし、話し中でなかなかつながらなかったり、各区の個別の事情に対応ができなかったり、と区民の方にご不便をかけていました。そこで、区では申込み窓口を利用しやすくするため、杉並区専用の窓口を開設します。

○ 粗大ごみ受付コーナーの運営委託

- | | |
|---------|---|
| ・ 事業内容 | 杉並区独自の粗大ごみ受付コーナーを開設する。区独自に運営することにより、年始等を除いて毎日受け付け、さらに受付時間も 2 時間延長を実現。また、ファクス・インターネットによる、24 時間受付も開始する。 |
| ・ 実施時期 | 平成 14 年 4 月 |
| ・ 予算額 | 30,367,000 円 |
| ・ 問い合わせ | 環境清掃部リサイクル清掃課（内線 4124） |

9 「スマートすぎなみ計画」の実施

13年度からスタートした「スマートすぎなみ計画」に基づき行財政改革を着実に実行し、「実施計画」事業や重要施策など区民ニーズに応える事業の財源確保に努めています。

(1) 財政効果

行財政改革による財政効果見込額は、36億3610万円

計画目標額に対する達成率は76.1%だが、歳入の確保を除いた場合には107.1%

職員の削減見込 102名

< 財政効果一覧 >

(単位：百万円)

区 分	財 政 効 果
内 部 努 力 の 徹 底	1,679
歳 入 の 確 保	1,124
施 策 の 見 直 し	833
合 計	3,636

内部努力の徹底

地域区民センター等管理運営の見直し、公社等の経営改善等を進めるとともに、職員定数の見直し等による人件費の削減に努めました。

歳入の確保

受益者負担の適正化に努め、自転車撤去手数料等の見直しを行うとともに、区有地の有効活用策として未利用地の売却を行い、歳入の確保に努めます。

施策の見直し

施策の選択や優先順位の明確化を図る中で、行政の守備範囲や民間との役割分担を見直し、民間委託や非常勤化等による施策の見直しに努めました。

(2) 財政健全化目標

区財政の危機的状況を突破し、財政再建への展望を見出すために、14年度までに達成すべき当面の目標を、次のように設定し、行革を推進してきましたが、そのいずれの目標も達成できる見込みです。

[基金積立額] : 年度間の財源調整を図る「財政調整基金」の積立額を、65 億円とする。

[特別区債] : (仮称)杉並南中央公園の新設に係る起債を除き、「起債残高」を 11 年度末との比較で、150 億円削減する。

[減税補てん債発行額] : 恒久的減税の始まった 11 年度から 14 年度までの間で、発行限度額から総額で 10 億円以上圧縮する。

10 特別会計

(1) 国民健康保険事業会計

雇用調整などにより国保加入世帯が増え、さらに老人保健医療費への拠出金が増となったことにより、会計規模は 3.1%の増加。

- ・ 規模 388 億 2208 万 8 千円 (対前年 1,175,299 千円増)
- ・ 被保険者世帯 128,262 世帯 (対前年 3,216 世帯増)
- ・ 被保険者数 198,275 人 (対前年 3,494 人増)
- ・ (歳入) 保険料 162 億 6401 万 7 千円 (対前年 470,040 千円増)
- ・ 一般会計繰入金 52 億 2074 万 8 千円 (対前年 22,420 千円減)
- ・ (歳出) 保険給付費 220 億 9655 万 9 千円 (対前年 96,423 千円減)
- ・ 老人保健拠出金 134 億 4232 万 4 千円 (対前年 1,073,637 千円増)

(2) 老人保健医療会計

対象者数、1 件当りの医療費の増などにより、会計規模は 4.03%の増加。

- ・ 規模 497 億 9443 万 8 千円 (対前年 1,928,723 千円増)
- ・ 対象者数 62,800 人 (対前年 1,900 人増)
- ・ (歳入) 一般会計繰入金 26 億 2964 万 2 千円 (対前年 94,498 千円増)
- ・ (歳出) 医療諸費 488 億 2257 万 9 千円 (対前年 1,890,924 千円増)

(3) 用地会計

12 年度に (仮称)杉並南中央公園用地を取得した際に起こした先行取得債を 16 年度までの間、一般会計による買戻しを実施。14 年度は「国庫債務負担分」のみ一般会計へ売却。

- ・ 規模 11 億 700 万 1 千円 (対前年 8,160,151 千円減)

(4) 介護保険事業会計

介護保険事業計画に基づき保険事業を運営。

- ・規模 206 億 2533 万 3 千円 (対前年 1,477,496 千円増)
- ・第 1 号被保険者数 88,698 人 (対前年 1,678 人増)
- ・保険料基準月額 2,940 円
- ・要介護等認定者数 11,170 人 (対前年 305 人増)
- ・(歳入) 介護保険料 33 億 9711 万円 (対前年 912,357 千円増)
- ・ 一般会計繰入金 27 億 996 万 3 千円 (対前年 173,802 千円増)
- ・(歳出) 保険給付費 202 億 324 万 6 千円 (対前年 1,441,944 千円増)

平成14年度 予算(案)の事業概要

平成14年2月発行

登録印刷物番号

13-0144



杉並区役所

区長室広報課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1 15-1

03-3312-2111

この印刷物は、古紙配合率100%(白色度70%)の再生紙を使用しています